

◎出題意図について：

出題した文章における著者の論旨を的確に理解するとともに、その要点を適切に文章化し、著者の指摘を具体的な社会や教育の仕組みに応用して考え、説得的に論述する力を問う。

◎解答について：

出題した文章では、人間がリスクに対峙する上で、多くの場合は専門家が存在するものの非専門家も含めた多くの人の「知」が反映される必要があり、その理由として科学には無知の領域があること、住民などの「現場の知」がリスクを指摘しうることにについて述べられている。

小論文の論述であるため、解答には多様なかたちがあり得ることを前提とする。

そのうえで、採点においては、次の諸点を基準とする。

1. 著者が、非専門家の「知」の重要性やその理由として指摘していることを、出題した文章から的確に読み取り、簡潔にまとめていること。
2. 著者の指摘を社会や教育のあり方に応用する上で、「専門家」とされる人々以外の様々な人の知が意思決定に反映されるような仕組み、あるいはそれらの声に耳を傾けられるような教育のあり方などについて、具体的に述べられていること。
3. 具体的な社会や教育のあり方においては、著者が述べている過去の事例（公害、洪水）と関連している必要はない。
4. 以上の諸点に関わって、論旨と筋道立てが明瞭で論理的に考えを記述していること、「非専門家」の「知」の重要性を踏まえた「社会や教育のあり方」が提案されていること、独自性のある議論が展開されていること、限られた文字数のもと読み手に伝わる文章でわかりやすく表現されていること。